

講義内容

約 2 時間 20 分

講義 1 : 管理責任者・事務局の業務	13 分
講義 2 : マネジメントシステム規格の留意すべきポイント (1)	15 分
講義 3 : マネジメントシステム規格の留意すべきポイント (2)	13 分
講義 4 : 管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 4)	12 分
講義 5 : 管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 5)	10 分
講義 6 : 管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 6)	13 分
講義 7 : 管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 6~8)	20 分
講義 8 : 管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 9)	18 分
講義 9 : 管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 10)	9 分
講義 10 : 認証審査対応	16 分

講義 1 : 管理責任者・事務局の業務

13 分

管理責任者・事務局の業務
管理責任者に関する規格上の要求事項
管理責任者の役割、責任及び権限 (QMS)
管理責任者の役割、責任及び権限 (EMS)
管理責任者の役割、責任及び権限 (ISMS)
管理責任者・事務局の主な役割・責任 (1)
管理責任者・事務局の主な役割・責任 (2)
マネジメントシステムの年中行事

講義 2 : マネジメントシステム規格の留意すべきポイント (1)

15 分

マネジメントシステム規格改訂の歴史
マネジメントシステム規格の留意すべきポイント
①プロセスアプローチ
①プロセスとは
②PDCA サイクルを使った ISO9001:2015 規格の構造
③事業プロセスへのマネジメントシステム要求事項の統合
④リスクに基づく考え方
④リスクに基づく考え方 (QMS 要求事項の関連)

講義 3：マネジメントシステム規格の留意すべきポイント (2)

13分

マネジメントシステム規格の留意すべきポイント
⑤パフォーマンス
⑤パフォーマンス及び有効性 (EMS)
⑤有効性
⑥変更のマネジメント
⑦マネジメントシステム規格の基本構造の共通化

講義 4：管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 4)

12分

管理責任者が関係する要求事項
箇条 4 組織の状況
4.1 組織の状況 4.2 利害関係者の要求事項
「対処すべき課題」の例
4.3 QMS の適用範囲の決定
4.4 品質マネジメントシステム及びそのプロセス

講義 5：管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 5)

10分

箇条 5 リーダーシップ
5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1.1 一般
5.1.2 顧客重視 (QMS)
5.2 方針

講義 6：管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 6)

13分

箇条 6 計画
6.1 リスク及び機会への取り組み
6.1 「リスク及び機会への取り組み」関連の要求事項 (EMS)
6.1 「リスク及び機会への取り組み」関連の要求事項 (ISMS)
「事業等のリスク」の例

講義 7：管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 6～8) 20分

箇条 6 計画
6.2 品質目標及びそれを達成するための計画策定
6.3 変更の計画
箇条 7 支援
7.1.6 組織の知識 (QMS)
7.2 力量
7.3 認識
7.5 文書化した情報
箇条 8 運用 (QMS)
8.1 運用の計画及び管理 (QMS)

講義 8：管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 9) 18分

箇条 9 パフォーマンス評価 (QMS)
9.1 監視、測定、分析及び評価 (QMS)
苦情処理はうまくいっているか
顧客苦情のとらえ方
9.2 内部監査
9.3 マネジメントレビュー (QMS)

講義 9：管理責任者・事務局の業務に関わるマネジメントシステム規格の要求事項 (箇条 10) 9分

箇条 10 改善 (QMS)
10.1 一般 (QMS)
10.2 不適合及び是正処置
10.3 継続的改善

講義 10：認証審査対応 16分

認証審査への対応
サーベイランス審査で実施される審査確認事項
再認証審査で実施される審査確認事項
登録証に関する要求事項